

# 北名古屋市、誕生



写真／北名古屋市役所提供（平成17年度撮影）

平成18年3月20日、師勝町と西春町が合併して北名古屋市になりました。

8月現在の人口は78,997人、世帯数は30,440。24に分かれる各地区には小学校が10校、中学校が6校、保育園が14、児童館は10館あります。

誰もが安全・安心に暮らせるまちを目指す北名古屋市。今後11月には合併の式典が行われる予定です



## 白木昭嘉 デザイン科 26期卒

しらぎあきよし

卒業後建築家の枠を超え、幅広く活躍中の白木さんにお話を伺いました。

ピュウデザイン  
〒500-8232 岐阜県岐阜市前一色2丁目11 17  
TEL/FAX 058-240-5197  
E-Mail : info@piu-design.com  
URL http://www.piu-design.com

卒業後建築家として幅広く活躍する、白木昭嘉さんにお話を伺いました。

—まずは、卒業してから現在に至るまでの経緯をお聞かせ下さい。

白木 「卒業後、店舗設計会社(株式会社バウハウス丸栄)に入社しました。その後建築士の資格を取るべく通った学校で現在の仕事のパートナーでもある妻に出会います。退社後は建築設計事務所への転職を考えていたのですが、何を血迷ったか、結婚してすぐ夫婦でイタリアに渡って、一年間だけですがイタリアのデザイン学校に通いました。」

—思い切った行動ですね。

白木 「はい、家族にも反対されました。思いついたら即行動が身上でして。帰国後、さあ就職先を探そうと思っていたところ、たまたま知人から住宅設計の相談を受けました。これが引き金となったんでしょうね。思い切って設計事務所を開設、現在に至ります。」

—白木さんにとって、建築家としての仕事のポリシーとは？

白木 「思いつきやフィーリングを大切にしています。思いついたらすぐ行動ですね。ただ慎重さも大事なので、直感的に嫌だなと思うことには警戒もしますが、基本的に楽しんで仕事をしていくためには失敗も恐れませんが。」

—若手経営者の勢いを感じます。

—独立といっても決して楽ではないかと思いますが、苦労話をお聞かせ下さい。

白木 「とにかく手探りでした。分からないことだらけで、いろ

## 小林智美

こばやしともみ

絵画科洋画コース 31期卒

小林さんは愛知県春日井市の出身です。卒業後、すぐに東京のアニメ背景美術会社『スタジオ・フォレスト』に背景マンとして勤務して3年を迎えました。長年の夢を実現した彼女に、現在の仕事についてお聞きしました。

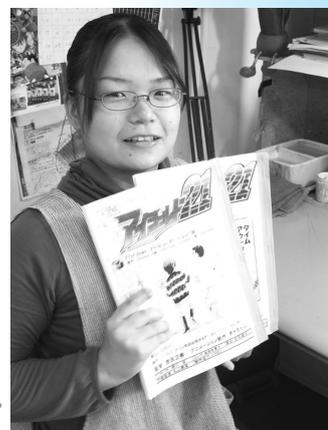
—アニメ制作に進もうと思ったのは、いつ頃から、またどの様なきっかけでした？

小林 小学生の時からマンガが大好きで、いつも読んで物語の世界に憧れていました。今も好きですが。(笑)

中学生時代にTVで再放送されていた『アルプスの少女ハイジ』観て感動したのがキッカケだったと思います。その後はアニメに対する想いがだんだん強くなり、自分でも作ってみたいと思うようになり、大学へ進学する時もデッサンがうまくなれば、アニメの世界に近づけると思いました。もちろん絵も大好きでした。ただ入学後1・2年生までは《キャラクター(人物)》がやりたかったのですが、3・4年生の時には、物語の世界を創り出す上で《背景》は無くてはならない重要なものと思えるようになりました。

—在学中に何か具体的な活動はしましたか？

小林 アニメ制作の業界は各々に繋がりががあるので、インターネット



スタジオでの小林さん。  
原稿を手に。

で検索するといろいろ出てきます。私の場合は『アニメ背景』のサイトで、フリーに仕事をしている人にメールとかでアタックして情報を集めました。現在勤務の『スタジオ・フォレスト』はインターネットの掲示板で求人しているのを見つけ、試験を受けました。

—実際に制作の仕事に就いて感じたことは？

小林 特に想像していたものとのギャップはありませんが、とても頭を使う仕事だと思います。何を描く時にも、構造や機能を考えて描くことが大切で、建物にしても室内にしても、窓1つ描く時でも頭を使って描くようになりました。資料を探したり、日頃の観察力も身に付きました。勤務時間は基本的には午前11時から午後9時までです。リテイク(やり直し)が出たり、締め切り間際になると、12時位までかかる事もありますが、徹夜はしません。

いろいろな人たちに助けられながらなんとかやっていました。仕事をもらえたとはいっても、それだけでは、当然生活は厳しく、起業資金として受けた融資は、ほとんどが事業用。イタリア帰りで貯金も無く、なんとか生活していくために、仕方なくバイトもしました。」

—そんな苦労も持ち前の行動力で乗り越えてきたわけですね。

白木 「お恥ずかしい。そんなところでしょうか。」

—それに対して、どんなときに喜びを感じますか？

白木 「クライアントの人たちと知り合っ、話をしたり時間を共有することでお互いを理解し、そして生まれたアイデアがうまく住宅や店舗に表現できた時ですね。独立したからこそ強く感じられるのかもしれませんが。楽しんでもらえれば自分も楽しくなるし、喜んでもらえるとう本当に嬉しくなります。」

—仕事が完了するまでのプロセスも楽しくが基本なんですね。

—最後に今後の目標を聞かせてください。

白木 「住宅や店舗はもちろんのこと、今後はプロダクトの仕事もチャレンジしたいです。仕事の幅を広げることで得られる経験を積むことと、多くの人と接することで多くの個性に触れることで自分を磨いていくことが当面の目標、テーマですね。」

—持ち前の行動力を活かして、ですね。今日は、ありがとうございました。

大手主導の世の中、建築業界もまたしかり。そして相次ぐ建築業界の不祥事。そんな中、お客さんとの時間を大切に、丁寧な仕事を進めていく白木さん。真面目な建築家に日の目が当たることを願っています。



—現在行っている仕事は何ですか？そして、将来の希望は…？

小林 毎週水曜日午後7時から「テレビ東京」系列で放映中の『アイシールド21』というアメリカンフットボールのアニメ背景を担当しています。それから、『こち亀』のスペシャル番組も、やったりしています。

現場には12名程の人がいて『アイシールド21』では、3人で一話毎の責任者になり、1つの作品を仕上げていきます。将来は、美監(美術監督)になって、自分の創り出した背景の中で、キャラクターを動かしてみたいです。大変な仕事だけど、やりがいがあるし、何よりも絵を描くことが好きだから頑張れると思います。

今や日本のアニメは海外でも高い評価を得ていますが、小林さんのように縁の下で情熱を持って支えている人達がいるから成り立っている世界だと思いました。小林さん、今回はご協力ありがとうございました。これからも健康に気をつけて、皆を元気にするような、夢を与える仕事を続けて下さい。

実家の仏具店「彫清昇龍(株)」の職人である小山さん。地元の新報にも取り上げられていた五大明王の像について話を聞いてみました。



制作中の軍荼利明王

## 小山祐司 彫刻科 20期卒

こやま ゆうじ

—大学卒業後はどうされていましたか？

小山 卒業してから一年間は、自分の母校である旭ヶ丘高校の美術科で講師を勤めていました。この一年は今ふり返っても良い経験だったと思っています。しかし、子ども達に教えることの難しさや責任を感じて、それ以上は続けませんでした。在学中は実家の仕事をしようという意識はありませんでしたが、自然に実家の仏具店の職人になりました。職人として一からスタートを切り、現在に至っています。

—現在、手掛けている仕事はどのようなものですか？

小山 三年前、名古屋の成田山萬福院に五大明王の一つである不動明王の座像を納めました。これは日本最大級で、両目には1カラットのダイヤが嵌め込まれています。不動明王以外の四大明王(大威徳、金剛夜叉、降三世、軍荼利)も年に一体ずつのペースで制作し、現在は最後の一体の軍荼利(写真)を制作しています。

—五大明王の制作について教えてください。

小山 五大明王のベースになっている像は、成田山の本山である新勝寺にあります。制作するに当たっては、萬福院の住職から平成の五大明王にして下さいという要望がありました。ですから、基本形を守りつつ自分の作品になるように、例えば足の重心を変えたり、顔にもアレンジを加えたりしています。しかし、五大明王の像は多くの人に拝まれる信仰の対象であること、何百年の間も残る可能性があるため、それにそうものでなければいけないと思っています。

巨大な不動明王は5人で2年程の制作時間がかかり、他の四体は一体につき一人で一年ずつかかりました。彫り上げた像はバラバラにして現場に運び、彩色をします。彩色には、同じ名芸大日本画科卒の巢山氏が手掛けています。彩色にも半年くらいの時間がかかります。現在手がけている軍荼利の像が最後の一体なので、間もなく五大明王すべてが揃います。平成20年に萬福院で落慶式が行われることになっています。

—今後については？

小山 在学中は、映画をよく撮っていました。時間があれば、また映画づくりをしたいですね。あと、年に一度ですが、石田武至先生が率いる「創彫会」で作品を発表しています。主に抽象的な人体を制作していますが、仏具の仕事と違ってとても気軽につくることができます。責任の重さが違いますね。自由に制作できる場なので毎年出品しています。メンバーは15人程で半分が名芸の卒業生です。毎年5月下旬に愛知県美術館で開いています。



『のみに心 ヒノキに魂』  
中日新聞、2006年3月9日(木曜日)、掲載。  
34面、カラー特集より。



## 川村科子理事長 旭日中綬章



「春の叙勲において旭日中綬章の榮譽に浴しました。5月11日、東京国立劇場において小坂文部科学大臣より勲記と勲章の伝達を受け、その後皇居の豊明殿で天皇陛下に拝謁を賜り、お言葉を賜りました。」と、川村理事長。

この受章祝賀会は、7月29日(土) ホテル・キャッスルプラザにおいて行われました。「卒業生の社会での活躍、永年にわたる本学院の教職員の努力、地域社会などからの温かいご支援とご協力の賜であり、深く感謝を申し上げます。」と理事長の挨拶でパーティーが始まりました。

「とにかく子供が好き、という気持ちから滝子幼稚園の教諭になり、幼児教育分野を中心にやりたい仕事に邁進したこと」、「宝塚ファンであったこと」など、川村理事長のお人柄を垣間見るようなお話に始まり、「平成元年に理事長となり当初は管理運営の勉強ばかりであったこと」、「大学院の開設を実現し、芸術系総合大学として全容を構築したこと」、「新学部の開設に向け邁進中」といった理事という立場の御苦労、現在進行形のプロジェクトなどを語られました。和気藹々とした雰囲気の中で、祝賀会に参加した皆さんも晴れやかな気持ちで帰途についたことでしょう。

(岩井義尚・彫刻5期)

## 『卒・日本画チームで天井画制作』



所在地: 曹洞宗 雲太寺  
北名古屋市鍛冶ヶ一色村内東121  
TEL 0568-21-1902

**参加メンバー** 鈴木淳子(22期)、岡本昌子(23期)、玉本誠(26期)、黒川直也・水野加奈子・熊倉まゆ子(28期)、金子絵里・水野寛奈(30期)、梅村愛・榎本幸子・榊原孔美子・高間貴美子・八木麻乃(31期)・竹川靖子(32期)

北名古屋市にある雲太寺開山堂の天井画依頼を受け、日本画卒の14名が28期卒の水野加奈子さんを中心に3年の歳月をかけ、この度全作品を納め、完成をむかえました。

水野さんから、制作時のお話を伺いました。

一雲太寺天井画制作のお話を御住職からいただいた当初は、完成後のイメージが漠然としか浮かびませんでした。三年がたち百三十枚すべてそろった天井画をながめてみると、どれもみなすばらしくて圧巻です。

制作を始めたころは、百三十枚という数がとても多く感じられました。一人で全部描くよりも、何人かで描いた方が絵にバラエティがあって面白いのではないかとということで、先輩後輩たちをお願いすることになり、皆さん快く受けてくださいました。なによりも、このようなめったにない機会を後輩達に与えることができたことをうれしく思います。ふだんあまり描くことのない、円という構図の制作は何人かに戸惑いがあったようで、どのようにモチーフを配置するか難しかったのですが、私も含めみな勉強になりました。今回、私が中心になって制作を進めてきましたが、百三十枚完成後も天井にどう配置するかも、皆さんのお力をお借りして決めていきました。

天井の配置は、位牌に近い天井の中心に龍、その周りにハス、さらに春夏秋冬の花、鳥、虫などを外側へ季節の順に並べました。中心辺りと四隅にこのお堂を護るように仏典に登場する想像上の鳥がいます。

うれしかったことは、一昨年、二年目と天井画を完成していくうちに、檀家の方々から「次はこの人にこういう花をかいてもらえないか」と注文が入ることがあったことです。制作の励みにもなりました。

雲太寺参詣の折、わたしたちの制作の成果をご覧ください大変うれしく思います。

完成した天井画を多くの人に観ていただきたいと思っています。興味のある方は是非お出掛けください。

場所 白亜館 葵 はくあかん おおい

名古屋市東区葵1-16-38 葵ガーデンビルB1  
TEL052-933-7531

交通のご案内

- 地下鉄東山線「新栄町」駅2番出口より徒歩1分
- 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

日時 平成18年11月18日【土】

総会受付 16:30～

総会 17:00～

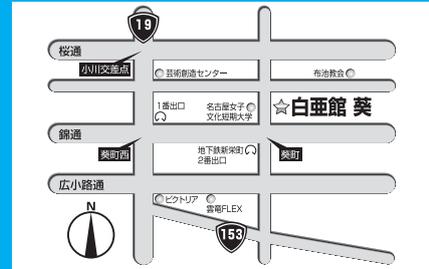
懇親会 18:00～

会費 無料

みなさんのご参加をお待ちしています。



昨年度懇親会の様子



## 同窓会が後援を行った展覧会報告

2005年4月から2006年3月まで、同窓会が後援を行った展覧会を下記に報告します。後援依頼は後援規約をよく確かめた上、ご応募下さい。

- days 2005 “彼女の場合”展 (30期卒 荒川美由香)  
2005年4月15日～20日:A&Dセンタースタジオ
- A SIMPIE EMOTION (28期卒 森部英司)  
2005年4月26日～5月1日:ギャラリーLE DECO
- 第9回幹の会 日本画展 (23期卒 安井真由美 他)  
2005年5月3日～8日:愛知芸術文化センター12階アートスペースH
- あさのゆき展 (20期卒 浅野友紀)  
2005年6月7日～12日:GALLERY MOCA
- 28期日本画卒作品展飛蝶会VSマルシェ第2回戦 (28期卒 水野加奈子 他)  
2005年6月23日～28日:妙香園画廊3・4階
- 杉本智子個展 (30期卒 杉本智子)  
2005年7月7日～12日:エビスアートラボ
- 西田壽夫水墨展 (15期卒 西田久夫)  
2005年8月23日～28日:銀座東和ギャラリー
- 秋田光彦展/日月気景図 (5期卒 秋田光彦)  
2005年10月18日～29日:GALLERY 141
- 酒向絵美展 (31期卒 酒向絵美)  
2005年10月21日～30日:T.A.G IZUTO
- 名古屋芸大大学院洋画制作研究作品展 (32期卒 大瀬加与 他)  
2005年11月30日～12月5日:ギャラリーくさ笛
- 若武者 (日本画展) (22期卒 福岡正臣 他)  
2006年1月24日～29日:ノリタケギャラリー
- 『AFTER REMISEN #7:椿原章代+服部奈奈』展 (15期卒 椿原章代 他)  
2006年1月28日～2月5日:A&DセンターギャラリーBE, be
- +2カタチになる。2年 (31期卒 小林春樹 他)  
2006年3月8日～13日:国際デザインセンターデザインギャラリー  
上記ほか。(計26企画)

## 作品展に於ける後援規約

名古屋芸術大学美術学部同窓生による個人又はグループの作品展に対して同窓会が後援する事により、同窓生の社会に於ける活動を支援する。

### 1.資格

名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓生で会費を収めた者。

### 2.後援金

個展・グループ展 (参加者全員が同窓生であること)とも1回に二万円とし、各参加者につき年 (期間:4月1日より翌年の3月末日まで) 1回とする。但し、名義後援は認める。

### 3.手続き

- イ) 会期3ヶ月前迄に後援依頼書を提出し同窓会役員会の審査を受ける。
- ロ) 作品展終了後1ヶ月以内に、DM及び会場 (作品) 写真数点を添え報告書を提出する。尚、DM及び写真は資料にするため返却出来ませんので御了承ください。

### 4.条件

- イ) 作品展のDM・看板等に後援名「名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓会」を明記する。

### 5.再振込の手数料で本人負担について

- イ) 報告書の振込先に間違いがあった場合は、2万円から振込相戻し手数料 (840円)と、再度振込時の手数料 (三菱東京UFJ銀行宛315円・他行宛630円)を差し引いた金額を、後援金として入金させていただきます。

### 6.問い合わせ・送付先

名古屋芸術大学美術・デザイン学部 同窓会事務局  
愛知県北名古屋市徳重西沼65  
TEL0568-24-0325

## 再度確認を！お願いします！

振込先の口座番号など、間違いが多くなっています。書類をお送り頂く前に、もう一度番号などご確認ください。よろしく願いいたします。

様式1	後援依頼	様式2	報告書
	<p>○年○月○日 名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓会 会長 青木 高弘 殿 第○期○○○科卒業 ○○○○○ 印</p>		<p>○年○月○日 名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓会 会長 青木 高弘 殿 第○期○○○科卒業 ○○○○○ 印</p>
	<p>下記の作品展について後援をお願いします。</p>		
1) 名称	○○○○展	1) 名称	○○○○展
2) 場所	○○○ギャラリー (住所・電話番号)	2) 場所	○○○ギャラリー (住所・電話番号)
3) 会期	○年○月○日～○年○月○日迄	3) 会期	○年○月○日～○年○月○日迄
4) 代表者 (出品者)	氏名 (第○期○○○科) 電話番号 郵便番号・住所	4) 代表者 (出品者)	郵便番号・住所 ※氏名 (第○期○○○科)・電話番号 注) ※印は出品者全員記入
		5) 入場者数	○○名
		6) 写真	写真○○点添付致します。
		<p>以上作品展について報告致しますので後援金の支給をお願い致します。 振込先/○○銀行・○○支店・○○座・No.○○ 口座名義 (フリガナ)</p>	